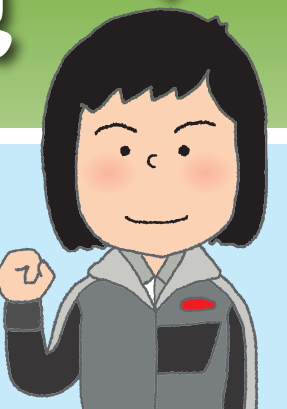


飲食店における ネズミの生活痕跡と対策

早期発見！
早期対策！



HACCP制度化により、飲食店においても衛生管理の基本である防虫防鼠対策は重要な取り組みです。中でもネズミの存在は食害や衛生的被害も含め、その影響は甚大なものが多く、早期の発見、早期の対策が重要です。現状はどうか？ もう一度、職場環境を再点検しましょう。

ネズミの痕跡とその種類

もし、ネズミが生息していれば必ず痕跡が残ります。
隅々まで調査し、痕跡を早期発見することにより
防除対策が早くできるため
深刻な被害を防ぐことができます。



天井裏はネズミが住みつきやすい



天井裏にまき散らされた糞



左からハツカネズミ、クマネズミ、ドブネズミの糞の例

痕跡① 糞(ふん)

ネズミは出沒する場所に糞を排泄します。
特に糞が見つかりやすいのは
天井裏や利用しない倉庫などです。

痕跡② 足跡

ほこり
埃の堆積した配管などに点状に残ります。
またネズミが比較的によく使う通路には
黒く汚れた形跡(ラットサイン)が残ります。



クマネズミの足跡



ダクトから出沒するクマネズミ



通り道に付着したラットサイン

痕跡③ かじり跡

ネズミ類は門歯(前歯)が伸び続けるために
ケーブルなど硬いものをかじり歯を削ります。
また食害も痕跡のひとつです。



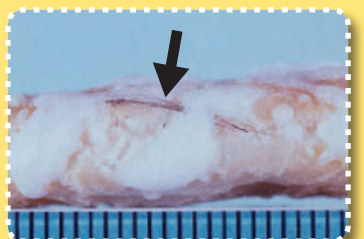
かじられた食品パッケージ

火災事故の危険性も…
金属線がむき出しの電気ケーブル

ケーブルをかじるクマネズミ

痕跡④ その他

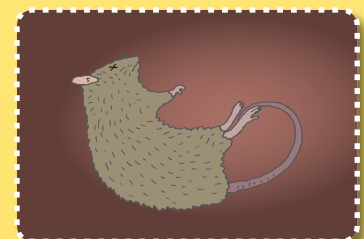
抜け落ちた体毛や尿・臭い・物音・
鳴き声のほか死体なども生息の証拠
となることがあります。



食品に付着したネズミの体毛



ネズミの巣(クマネズミ)

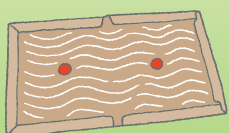


ネズミの死体

対策

① 発見方法

- ▶ カメラ監視
- ▶ トラップ捕獲
- ▶ エサ誘引など

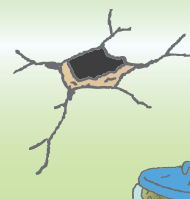


② 点検・捕獲

- ▶ 日頃の点検、トラップなどで生息監視する
- ▶ 侵入の疑いがある際は害虫駆除業者に早めに相談

③ 施設保全

- ▶ 天井や壁などに穴をつくらない
- ▶ わずか1センチの穴でも侵入口となり得る



④ 洗浄・清掃

- ▶ エサを残さない
- ▶ 営業後の厨房やホールに露出食品や残渣がない状態にする

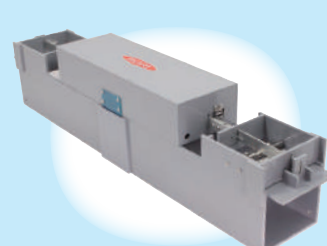


「飲食店におけるネズミ対策」については、
最寄りのイカリ消毒営業所までご相談ください

<https://www.ikari.co.jp>

環境エンジニアリング

IKARI



J-ラインLight



CXビューカメラ



ラットカウンタ



CXステーション